

専門教育科目		演習科目		受講料		6,000円	
科目名： 健康につながるオーラルケア				科目コード		EJ89	
				単位		2	
				配当年次		1	
科目主査： 永山 正人				担当講師： 永山 正人			
授業の目的と概要				グループワーク： ☒ あり ☐ なし		個人ワーク： ☒ あり ☐ なし	
オーラルケア（虫歯予防、歯周病予防、抜歯予防、オーラルフレイル予防、誤嚥予防等）は、健康寿命の延伸、健康経営に必要なことを理解し実践できるようにする。自己健康管理および医療、福祉、介護系の職種に必要なオーラルケアの知識と技術を習得することを目的とする。従って他者のオーラルケアの評価もできるようになる。新しい歯科医療の最新情報提供と口腔と心の関係（サイコサイバネテック）にも時間の許す限り言及する。但し、教科書中、実施において医師・歯科医師等の専門家の指導下で行う必要がある部分は除外して実習と講義をする。							
履修の前提となる科目		☐ あり ☒ なし		科目名：			
履修の前提となる知識 その他特記事項		オーラルケアに関する本を読んでおくとう業が理解しやすくなる。					
テキスト		『口腔機能の維持・向上による全身状態改善のためのオーラル・マネジメント実践マニュアル』別所 和久 監修／奥田 聖介・武井 典子 編著，医歯薬出版，最新版 ※テキストはスクーリング受講許可者に送付します。					
この科目の到達目標		①全身の健康管理にオーラルケアが必要であることを理解し、その方法を十分身に付けることにより、社会生活の健全化、仕事の能率向上（健康経営に寄与できる）に役立つ能力を養うことを目標とする。 ②う蝕、歯周病、咀嚼、嚥下に関する基礎知識を身に付けることにより、誤嚥性肺炎等の予防ができるようになる。介護事業にも参加できる知識と技術を身につけることを目標とする。					
成績評価の方法		①健康とオーラルケア、並びに介護に関する基本的知識の理解度、実践への意欲をみる。 ②オーラルケアの方法論、他者への評価法についての理解度、応用能力についてみる。 ※スクーリング全日の出席、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。					
事後学習		健康とスポーツ、医療福祉経営論、医療における人の心理と行動、医療・福祉心理学等の科目を学習するとより効果があがる。					
事後学習の参考文献		『改訂版 口腔ケア基礎知識』（一社）日本口腔ケア学会、永末書店、2017年 『患者を知るための心理学』海保博之ほか、福村出版、1987年 『口腔ケアのABC QOLのためのポイント110』河合 幹ほか、医歯薬出版、1999年 『患者さんのためのオーラルフレイルと口腔機能低下症の本』菊谷 武、医歯薬出版、2018年					
スクーリング受講時に用意するもの ☒ テキスト ☒ 筆記用具 ☒ 手鏡 ☒ 歯ブラシ ☒ 爪楊枝1本 ☒ ティッシュペーパー（数枚） ☒ 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 ☒ 学生証							